



No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組  今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでいる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・テレワーク推進、業務効率化に向けてTeams、Zoomを活用したオンライン会議の導入 ・資料の電子化に向けたBOXの導入 ・Teamsチャットの活用								●	●		●	●						
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIターンなどの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信	・(本社)採用推進課主体で、全国の高専から夏にインターンシップの受入れをしている。 ・(沼津・太田)地区採用では、沼津市内だけでなく、県内・県外の工業高校に求人をしており、会社説明会も実施している。 ・YouTubeで若者向けの動画配信をしている。				●				●		●								
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	・健康診断結果をもとに保健指導を実施し、生活習慣病の発症リスクを下げる取り組みをしている。 ・ストレスチェックを実施し高ストレス者へのフォロー、職場改善活動へ繋がる取組を行っている。 ・メンタルヘルス研修を実施しセルフケア、ラインケアに関する教育を行っている。 ・メンタルヘルスに関する社外相談窓口を設けている。 ・病欠欠勤→休職については、社内規程の整備をしている。			●					●										
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・階層別研修を実施している(新入社員、2年次、主任、新任管理職、マネジメント、GL)。 ・その他、選択研修、選抜研修、技術教育などのカリキュラムも整備している。 ・自己啓発として通信教育の受講斡旋と費用補助等も支援している。				●				●										●
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置	・企業行動基準を改定し、役員研修を実施。 ・「コンプライアンス委員会(委員長：担当役員)」という推進組織を設け、コンプライアンス活動方針を決定している。 ・法務部門を中心として、グループ全体でコンプライアンス教育を実施 ・コンプライアンス及び内部統制の意識の維持・向上及び職場の意見を把握するため、コンプライアンス研修を実施 ・各部署に「コンプライアンスマネージャ」を配置し、職場内での相談・問題を法務部門に報告する体制としている。 ・コンプライアンス通報窓口(コンプライアンス・ホットライン)を設け、違法行為の防止及び早期問題解決を図る。								●		●							●	
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サステナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・「サステナビリティ経営戦略会議(議長：社長)」「サステナビリティ経営推進会議(議長：担当役員)」という2段階構成で推進組織を設け、「サステナビリティ推進部」という担当部署を設けた。 ・サステナビリティ経営方針に則り、各部署の活動計画に落とし込み、サステナビリティ経営推進意識の向上を図っている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している	・「サステナビリティレポート」という名称で公開している。 <a href="https://meidensha.disclosure.site/ja/themes/133">https://meidensha.disclosure.site/ja/themes/133</a>												●						
17	自由 記述	環境・経済・社会																				

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の2点を満たしたうえで提出してください。

- ①経済・社会・環境の3つの側面それぞれについて、取組を設定していること
- ②10項目以上記載すること